



～ JA岩手ふるさと自己改革の報告 ～ 組合員の営農と生活、 地域社会の発展に貢献する JAを目指して

【第7次中期経営計画 平成28年4月1日～平成31年3月31日】

基本目標

1. 所得確保を図る戦略的生産・販売の実践
2. 次世代へつなぐ安心して暮らせる地域社会の実現
3. 改革に挑戦する経営基盤の強化

JAは第7次中期経営計画(平成28年度～平成30年度)の最終年度として、基本方針である「組合員の営農と生活、地域社会の発展に貢献するJAを目指し全力で取り組む」のもと、自己改革の柱である三つの基本目標を掲げ各部門で取り組んできました。

所得確保を図るべく、法人や担い手農家への定期訪問を実施し営農指導体制の強化を図り、マイスター生の受入強化や施設園芸団地の着工など産地拡大を目指し事業を実施しました。米のフレコン集荷体制の整備、ピーマン選果施設の更新、肥料の直送、廉価資材の導入等生産コストの削減、省力化を図りながら、放射能物質検査の継続実施、輸出入の増大、前沢牛のGI商標認定、大谷翔平選手のイメージキャラクター登用等販売強化に取り組めました。

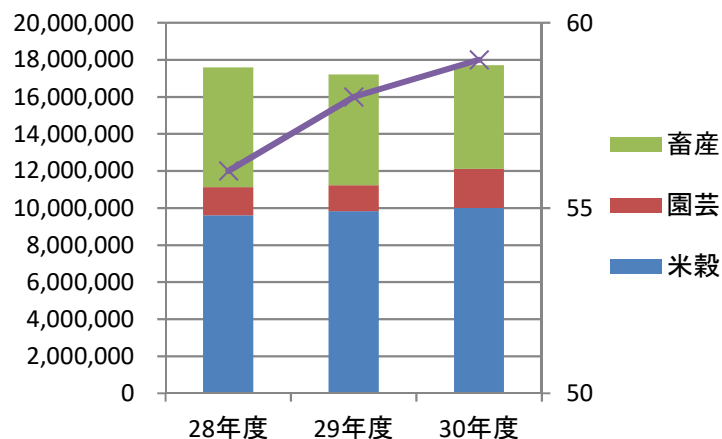
また、地域センター、支店を中心とした総合事業を活かした生活インフラ機能を発揮し、JAまつり、食農フェスタ、ふるさとキッズ探検隊等を通じ農業と地域をつなぐサービスを提供し、食農教育や子育て世代・高齢者支援にも積極的に取り組みました。

これからも、組合員・地域の皆様の拠りどころとしていただけるような事業展開を行い、第7次中期経営計画の達成、更なる自己改革への挑戦のため、第8次中期経営計画策定に向け取り組んでいきます。

販売品販売高と 営農指導員の数

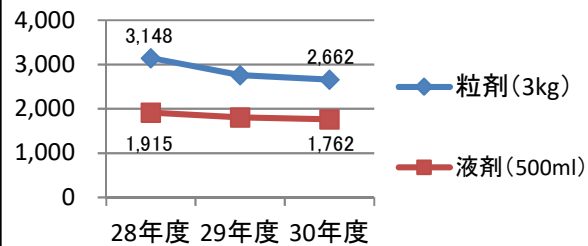
28年度・29年度は実績値
30年度は計画値

(単位:千円、名)

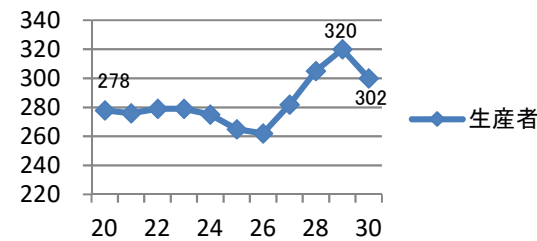


基本目標	重要施策 重点実施事項	具体的取組み内容	取組経過・今後の取組み等	目標				
				平成28年	平成29年	平成30年		
所得確保を図る戦略的生産販売の実現	産地の拡大	●新規就農者園芸定着化支援と育成	◆平成30年度産地/パワーアップ事業 ・簡易ビニールハウス16棟、受益面積5,184㎡ 対象品目ピーマン 管理者胆沢4名	計画 検討	○	1ha	△	3ha
		●マイスター制度の実施	◆今年度はピーマン生産者2名の受入、実践に向けた研修を実施中	実績 検討	○	50a	△	—
	●共同利用施設の導入、更新	◆ピーマン形状選別機 導入・稼働	計画 年間3名	○	年間4名	△	年間5名	
	●水沢南ライスセンター、白山ライスセンター 乾燥機更新 ◆胆沢集約倉庫 着工（敷地面積11,503㎡）	◆水沢南ライスセンター、白山ライスセンター 乾燥機更新 ◆胆沢集約倉庫 着工（敷地面積11,503㎡）	実績 年間3名	○	年間3名	△	—	
営農指導体制の強化	●担い手経営体に対する機械導入支援	◆アグリリードリース事業の申請 ・担い手経営体に対する機械導入支援 ・今年度は3.8千万円	計画 リース事業 5千万円	△	リース事業 5千万円	△	リース事業 5千万円	
	●有益な情報の提供を営農アドバイザーと支店担当者が連携し実施	◆アグリリードリース事業の申請 ・担い手経営体に対する機械導入支援 ・今年度は3.8千万円	実績 2.6千万円	△	4.8千万円	△	—	
低コスト生産の構築	●肥料直送事業の制定、普及推進	◆肥料直送事業の推進 ・ふるさととくさい088(20kg)の場合 予約価格2,490円 4t~10t 2,130円 10t~ 2,110円	計画 直送事業 30件/年	○	直送事業 30件/年	○	直送事業 30件/年	
	●廉価資材や省力資材の導入 ●水稲大型規格農薬の選定、普及推進	◆ふるさと大地1号(20kg) 10a当たり 100kg(7,600円)→50kg(4,775円) ◆ガンガン1kg粒剤(40kg) 86,900円(2,172.5円/10a)	実績 直送10t~ 37件/年	○	直送10t~ 39件/年	○	—	
販売力の強化	●海外でのふるさと産米販売促進、PR活動、国内取引卸、現地バイヤー等の招へい	◆本年産の輸出米の集荷計画は600tで、今後も海外において岩手ふるさと米フェアを実施	計画 輸出米 360t	○	輸出米 420t	△	輸出米 480t	
			実績 390t	○	410t	△	—	
	●「岩手ふるさと産農畜産物」のイメージアップ戦略を展開し販路拡大	◆前沢牛「地理的表示(GI)保護産品」に登録 ◆第62回岩手県畜産共進会 黒毛和種部 群出品 名誉受賞 肉牛部 名誉賞1頭・1等賞4頭受賞	計画 GI法申請登録	○	実施	○	実施	
			実績 申請登録	○	登録	○	—	
●放射性物質検査の継続実施	◆29年度は出荷野菜、米、大豆について検査を実施し、14,150検体すべて基準値以下	計画 申請登録	○	登録	○	—		

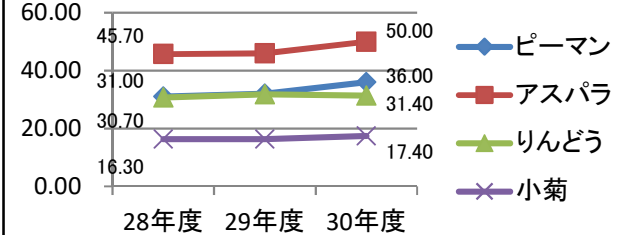
パサグラン粒剤、液剤価格推移表(単位:円)



ピーマン生産者数の推移(単位 縦軸:名 横軸:年度)



園芸重点品目の作付面積の推移(単位:ha)



基本目標	重要施策 重点実施事項	具体的取組み内容	取組経過・今後の取組み等
次世代につなぐ安心して暮らせる地域社会の実現	くらしの活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> ●地域センター、支店を中心とした活動の展開 ●SNSによる活動内容の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各地域年間計画に基づき実施 支店だより4支店で発刊中 ◆フェイスブックにてタイムリーな情報発信
	食農教育・交流活動	<ul style="list-style-type: none"> ●ふれあい体験農園を通じた食農教育 ●ふるさとキッズ探検隊の活動 ●目的別グループの設立 	<ul style="list-style-type: none"> ◆8月第3回食農親子フェスタ実施 (親子43組118名参加) ◆7月ふるさとキッズ探検隊実施 (7家族、19名参加) ◆子育て支援サークル(にこにこクラブ)設立 5・11月離乳食教室、8月幼児食教室開催 ◆野菜園芸教室 (3回開催のべ206名参加)
	農業と地域をつなぐ 総合サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●カタログ販売、ネット販売の普及 ●ふれあい訪問活動強化によるガス機器推進、アフターサービスの充実 ●お客様満足度向上(CS)改善プログラムの定着 ●地域農業を応援する金融総合サービスの提供 ●3Q訪問(共済事業)の100%実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆7,100戸訪問し継続して訪問活動を実施中 ◆CS改善プログラム実践を継続中 ◆産直にてJAカード決済5%引き実施中 ◆3Q活動72.8%実施(10月末現在)
	高齢者福祉活動・ 健康管理活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ●助け合い組織による高齢者福祉支援活動 ●人間ドックの普及・拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ◆元気アップ講座開催 (3回開催、のべ60名参加) ◆人間ドック検診 (29年度669名、10月末現在181名) 受診増加に向け取組み継続中
	改革に挑戦する経営基盤の強化	地域住民との協同活動	<ul style="list-style-type: none"> ●シニア世代を対象とした協同活動 ●各種セミナーの開催 ●産直来夢くん創業祭 ●JAまつり 
総合ポイントサービスを 活用した組織基盤の拡充		<ul style="list-style-type: none"> ●各種イベントを通じたポイント会員募集 ●複数事業利用に向けたランクアップ制度導入 ●総合ポイントサービスと連携した組合員加入キャンペーンの実施、新規組合員セミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ◆19,000名のポイント会員募集中 (10月末現在18,851名) ◆組合員加入キャンペーン12月12日より実施 ◆新規組合員セミナーは12月9日開催予定
人材確保・ 活力ある職場づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●各種認証試験等合格者の確保 ●JA岩手ふるさと版人事評価制度の確立、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆受験者の選考、講習会の実施 29年度職員資格認証試験 30名合格 29年度営農指導員試験 3名合格 ◆人事評価制度評価確認者研修会の実施

